

週間漁海況情報 2025年第50号

令和7年12月16日発行

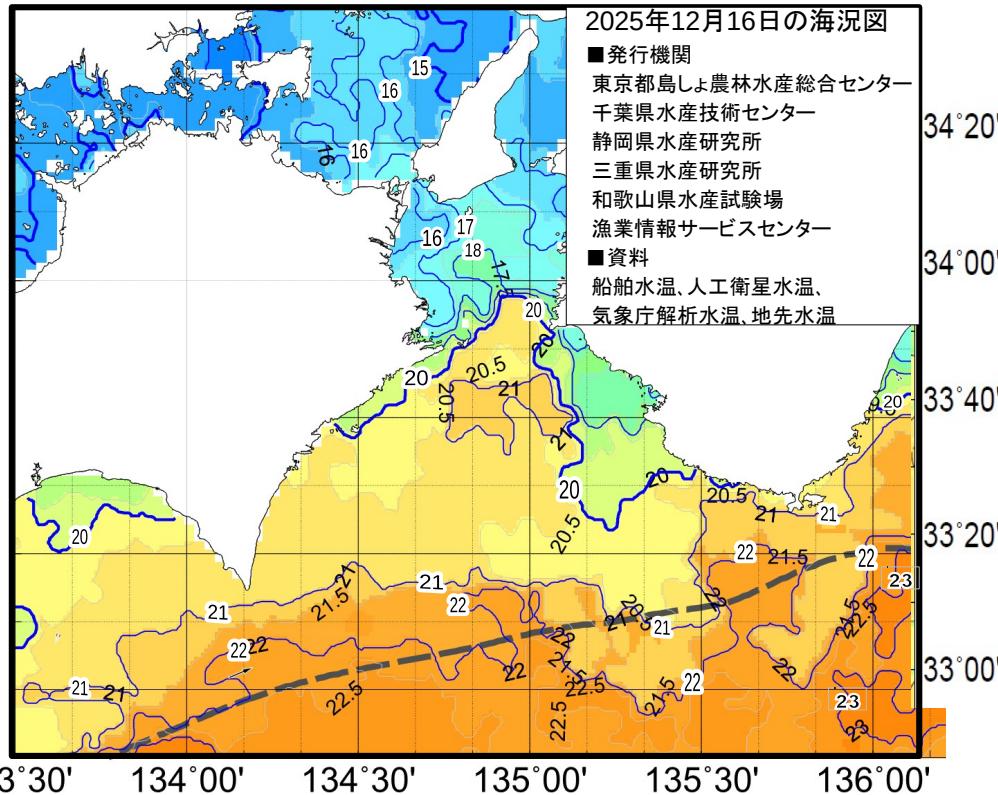
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は21~23°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で15~16、紀伊水道で15~19、海部沿岸で19~20°C台となっている。

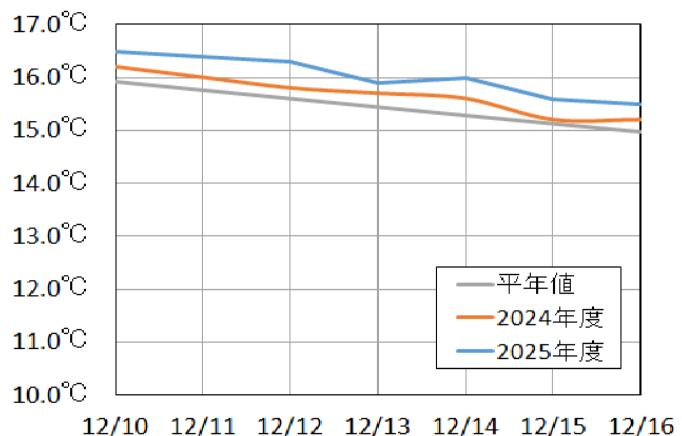


直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

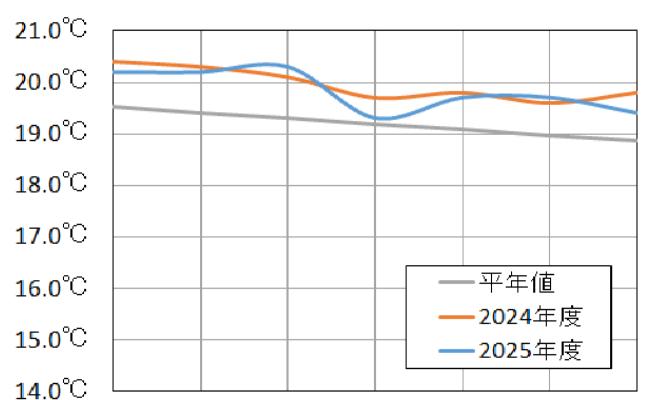
2. 地先水温(12月10日~12月16日)

鳴門地区の水温は、16.5~15.5°Cで「平年並み」から「やや高め」で推移。浅川地区は、20.3~19.3°Cで「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.4~4.1°Cだった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 平年値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(12月17日~12月23日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (12月8日～12月14日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが大きく増えて28.6トン水揚げされた。
延縄では、サワラが増えて1.2トン、あまだい類が減って0.8トン水揚げされた。

底びき網では、モンゴウイカが増えて1.9トン、クマエビが1.4トン、
ハモが増えて中主体に1.4トン、タチウオが大きく増えて0.7トン水揚げされた。

建網では、カワハギが増えて大主体に0.5トン水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく増えて1.1トン、マアジが減って豆あじ級主体に0.9トン、
カワハギが増えて大主体に0.9トン、すずき類が大きく増えて大主体に0.3トン、
カンパチが増えて0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 3)

釣りでは、ブリが1.2トン水揚げされた。

大型定置網では、マルアジが大きく増えて小小主体に2.3トン、
カンパチが大きく増えて1.8トン、メアジが増えて1.6トン、
ヒラソウダが0.7トン、マアジが大きく増えて小小主体に0.5トン、
シイラが大きく増えて小小主体に0.5トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	71	シラス	28,620	403		↗↗
	延縄	35	サワラ	1,151	33		↗
		53	あまだい類	849	16		↘
	底びき網	31	モンゴウイカ	1,878	61		↗
		30	クマエビ	1,408	47		→
		27	ハモ	1,365	51	中主体	↗
		26	タチウオ	723	28		↗↗
	建網	56	カワハギ	507	9	大主体	↗
	小型定置網	16	イサキ	1,056	66		↗↗
		19	マアジ	907	48	豆あじ級主体	↘
		20	カワハギ	906	45	大主体	↗
		10	すずき類	328	33	大主体	↗↗
		7	カンパチ	316	45		↗
海部沿岸	釣り	33	ブリ	1,156	35		→
	大型定置網	6	マルアジ	2,301	384	小小主体	↗↗
		6	カンパチ	1,778	296		↗↗
		6	メアジ	1,602	267		↗
		6	ヒラソウダ	687	115		→
		6	マアジ	527	88	小小主体	↗↗
		6	シイラ	515	86	小小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘